

# ZEPHYROS

ゼフェロス No.34

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



ティツィアーノ・ヴェチエッリオ《ウルビーノのヴィーナス》  
1538年頃、油彩/カンヴァス 119×165cm  
ウフィツィ美術館  
Photo : Antonio Quattrone

## ウルビーノのヴィーナス 古代からルネサンス、美の女神の系譜

会期： 2008年3月4日(火)～5月18日(日)

主催：国立西洋美術館／フィレンツェ美術館特別監督局／読売新聞社

本展覧会では、古代、ルネサンス、そしてバロック初めに至るまでの、ヴィーナスを主題とする諸作品を展示します。ヴィーナスの神話が、いかに古代の芸術家の靈感を刺激したのか、そして古代文化が再生したルネサンスにおいて、どのようにヴィーナスの図像が復活、発展したのかを、絵画、彫刻、工芸品等によって辿ります。特に今回は、ウフィツィ美術館よりヴェネツィア派を代表する画家ティツィアーノの名品《ウルビーノのヴィーナス》をお借りすることが可能となりました。それ以外にも、イタリア各地からヴィーナスを表わした選りすぐりの作品が貸し出される予定です。

ヴィーナスは、もとは古代ローマの女神でした。ラテン語名はウェヌス(“ヴィーナス”は英語による表記)といいます。ただし彼女には前身があって、それがギリシア神話の女神アフロディテです。アフロディテは愛と美、豊饒の女神であり、ヴィーナスはこの特徴をそのまま受け継ぐこととなりました。そして彼女の傍らには、しばしばその息子キューピッドも登場します。

## ウルビーノのヴィーナス

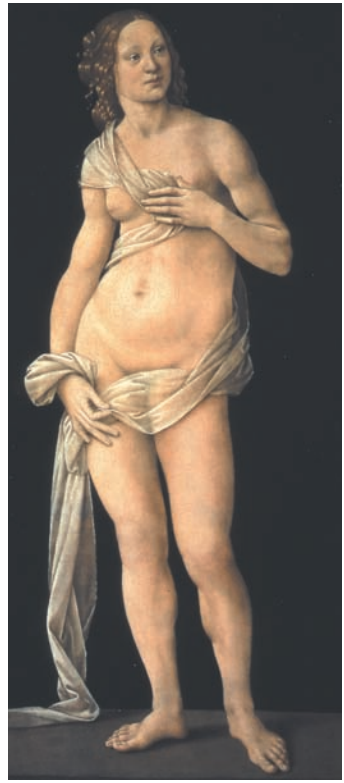
ヴィーナスはキリスト教にとっては異教の神なので、中世美術にはあまり見られません。彼女の図像が本格的に復活したのはルネサンスのことで、古典文学の復興と相まって、彼女は多くの美術作品に登場するようになりました。本展では、同じ主題を描いた古代とルネサンス以後の作品を同じ会場に展示します。両者を比較することで、ルネサンスの芸術家たちが古代から何を学び、どのように表現を発展させたかを、理解していただける筈です。

ルネサンス期のフィレンツェにおけるヴィーナス像は、当時の哲学的な議論を背景にして、慎重な表現が多かったのですが、一方ヴェネツィアでは、絵を見る男性の視線を意識した、官能的な女神が登場するようになります。《ウルビーノのヴィーナス》はその

代表的な作例です。ヴェネツィアのなまめかしいヴィーナス像は、その後女性ヌードを描く画家たちにとっての手本となりました。

「美」や「愛」が私たちが捉える仕方はさまざまであり、それゆえその化身であるヴィーナスは、表現の幅を持つことができました。彼女は神話上の存在であると同時に、愛や美という哲学の根本にかかわる問題を象徴することができ、さらには艶っぽい装いをまとうこともあったのです。本展に展示される作品の数々を通じて、ヴィーナスのさまざまな現われようをご鑑賞下さい。

(研究員 渡辺 晋輔)



ロレンツォ・ディ・クレーティ《ヴィーナス》  
油彩/カンヴァス 160×76cm  
ウフィツィ美術館  
Photo : Antonio Quattrone



ポントルモ(本名 ヤーコポ・カルッチ) ミケランジェロの下絵にもとづく  
《ヴィーナスとキューピッド》1533年頃、油彩/板 128×197cm  
フィレンツェ、アカデミア美術館  
Photo : Antonio Quattrone



本館19世紀ホール内展示風景

現在進行中の彫刻修復プロジェクトは主に2つあります。第1に常設展示されている彫刻の台座の免震化と台座上の彫刻保存修復作業、第2にまだ陽の目を見たことのない収蔵品の修復です。この2つに加え、他館から要請のあった貸出作品に必要なであれば修復を施します。

彫刻台座の免震化は、当館本館に常設展示している作品を中心に2年前から継続しています。大きくて重い彫刻は強い地震が起こった際に倒れて凶器と化す恐れがあります。大切な彫刻作品の転倒を防止すると共に来館者の安全を守るために、免震台座は大変重要な役割を果たすのです。この台座免震化に伴い、台座に載っている彫刻表面の保存修復を行うと同時に、近年寄贈されて展示できる状態にない貴重な収蔵品の修復も並行して行っています。

館内には彫刻修復室があり、彫刻の汚れ・劣化物質の除去と表面保護など直接作品に触れる修復処置は私が行っています。しかし、保存科学専門職員に物質の成分分析を依頼して制作方法・材料や劣化原因を探ったり、学芸員や他の修復家と意見交換をして修復方針を決定したり、他の専門家の協力があってこそ修復プロジェクトが進むのです。

ブロンズ彫刻は硬くて強い印象がありますが、実は大変脆弱です。摩擦により磨耗し、水分と塩分により劣化が進みます。この全ての危険因子を孕んでいるのが、作品に素手で触れるという行為です。当館でも彫刻への接触件数が大変多く、痛々しく傷ついた彫刻を修復す

る度に心が痛みます。一旦磨耗・劣化すると、修復をしても完全に元通りにはなりません。我々が行っている保存修復は、作品をできるだけよい状態に保つことで寿命を延ばし、後世に伝承するためのお手伝いにすぎません。大切な芸術作品の保存修復は、来館者の皆様が担っているのです。



へむきなおみ  
(研究補佐員 邊牟木 尚美)

# 国立西洋美術館ボランティア 活動報告

the national museum of western art, tokyo

2165人。この数字は平成18年度に国立西洋美術館のスクール・ギャラリートークへいらした児童・生徒の皆さんの数です。

ボランティア活動の1つでもあるスクール・ギャラリートークでは学校単位で予約を受け付け、1グループごとに1人のボランティアガイドがついて一緒に常設展示室を45分ほど掛けて3～4点の作品を見て回ります。



私達がトークで最も気を付けることは参加者に作品をまず良く「見て」もらうこと、そしてどのように感じたかを言葉にして「話して」もらうということです。言い換えれば、参加者が話し易いように手助けをし、「聞き手」となることを第1の目的としています。初めて美術館を訪れるという生徒さんも沢山いらっしゃいますから、突然「この絵を見てどう思ったか、お話してみてください。」と言っても上手く言葉が出ないのは当然のこと。そのような時は「絵を見た時、最初に気になったのは?」「場所はどんな所?」「性別は?大人かな?子供かな?」といった言葉にし易い質問を幾つか投げかけてみます。すると次第に「きれい!へんだよね!おもしろいよ。楽しそう!悲しそう。」と驚きや感動が言葉となり、時には斬新な発想や切り口で絵から想像した物語を語ってくれることもあります。



国立西洋美術館は新館改修工事に伴いしばらくは本館のみでのトークとなりますが、新しいトークのコース作成も進行中です。2165の数字がもっともっと増えますように願いながら…。

(ボランティア 井上 直子)



「ウルビーノのヴィーナス展」に関連して下記のプログラムを実施しますので、ぜひご参加ください。

### ◆記念講演会

- ① 3月4日(火) 14:00~15:30  
クリスティーナ・アチディーニ(フィレンツェ美術館特別監督局長官)  
「フィレンツェ美術館特別監督局—伝統と未来のはざまの美術館」
- ② 3月15日(土) 14:00~15:30  
芳賀京子(東北大学准教授)  
「古代美術における横たわる裸婦」
- ③ 4月12日(土) 14:00~15:30  
浦一章(東京大学准教授)  
「イタリア文学におけるヴィーナスとその周辺人物たち」
- ④ 4月19日(土) 14:00~15:30  
三浦篤(東京大学教授)  
「《オランピア》から《ウルビーノのヴィーナス》へ—近代絵画と伝統」
- ⑤ 5月10日(土) 14:00~15:30  
渡辺晋輔(国立西洋美術館研究員)  
「ルネサンス美術に表わされたヴィーナス—《ウルビーノのヴィーナス》を中心として—」

※講演会のタイトルは変更されることがあります。

会場	国立西洋美術館講堂
定員	各回申込先着145名(聴講無料。ただし、展覧会の鑑賞については別途観覧券が必要です)
応募方法	往復はがきに、希望日(はがき1枚につき1講演のみ)、氏名(1枚につき1名様限り)、住所(返信にも)、電話番号をご記入の上、下記の宛先までお申し込みください。
宛先	〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 国立西洋美術館「ヴィーナス展」講演会係

### ◆スライドトーク

当展覧会のみどころや主な作品について、夜間開館を行っている下記の金曜日にスライドを使った解説を行います。

日時	3月14日、3月21日、4月11日、4月25日、5月9日 毎回18:00~(約40分)
解説	小林明子(慶応義塾大学大学院)
会場	国立西洋美術館講堂
定員	先着145名(展覧会観覧券が必要です) *直接講堂にお越しください。

### ◆国際シンポジウム「ルネサンスのエロティック美術」

日時	3月29日(土)
会場	国立西洋美術館講堂

※詳細については、今後当館ホームページ等でご案内いたします。

# 展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2008年2月～2008年7月

## 常設展示 (本館)

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ・ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。  
(常設展示室を一部閉館しております。展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

### ●全館休館のお知らせ●

新館設備改修工事のため、平成20年1月7日(月)から3月3日(月)の期間全館休館致します。

### ●常設展示室一部閉館についてのお知らせ●

新館設備改修工事のため、平成19年9月14日から平成21年3月(予定)まで、常設展示室が一部閉館(本館のみ開館)しております。

来館者の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますこと、心よりお詫び申し上げます。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

■ 休館日 ■ ■ 土日・祝日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
2 FEBR																												
● 新館設備改修工事のため全館休館 1月7日(月)～3月3日(月)																												

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
3 MARC																														
● ウルビーノのヴィーナス 古代からルネサンス 美の女神の系譜 (企画展示室)3月4日(火)～5月18日(日)																														
● 新館設備改修工事のため全館休館 1月7日(月)～3月3日(月)																														

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
4 APR																													
● ウルビーノのヴィーナス 古代からルネサンス 美の女神の系譜 (企画展示室)3月4日(火)～5月18日(日)																													

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5 MAY																														
● ウルビーノのヴィーナス 古代からルネサンス 美の女神の系譜 (企画展示室)最終日 5月18日(日)																														

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
6 JUNE																													
● コロー 光と追憶の変奏曲 (企画展示室)6月14日(土)～8月31日(日)																													

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7 JULY																														
● コロー 光と追憶の変奏曲 (企画展示室)6月14日(土)～8月31日(日)																														
● Fun with Collection 2008 見る楽しみ・知る喜び・宗教、芸術家、修復編(7月～8月)																														

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

### ●お知らせ●

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェ「すいれん」)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。)

詳細については、当館ホームページをご覧ください。

## 国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間  
通常…午前9時30分～午後5時30分(ただし、秋の企画展開会日以降の開館日から春の企画展閉催日までの開館期間中=午前9時30分～午後5時)  
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時  
\*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)年末年始(12月28日～翌年1月1日)
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600  
<http://www.nmwa.go.jp/>

※ 誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまだまの花々を運ぶ春の風をさします。

# ZEPHYROS

ZEPHYROS 第34号

編集・発行 国立西洋美術館/平成20年2月20日(年4回発行)  
協力(財)西洋美術振興財団  
印刷(株)アイネット